

手順編

0.エンドパネル（オプション）	▶22						
1.壁掛大便器スタンド	▶23						
2.止水栓	▶25						
3.排水接続管	▶28						
4.コアキャビネット	▶29						
5.大便器	▶32						
6.タンク接続管	▶34						
7.セットタンク	▶35						
8.ウォシュレット	▶38						
9.前板（上）	▶40						
10.棚板・タンク上収納底板用アングル材	▶41						
11.扉	▶43						
12.試運転・確認	▶45						
13.流動レバー	▶49						
14.給水フィルターの清掃	▶49						
	<table><tr><td>手洗器</td><td>あり</td><td>なし</td></tr><tr><td>15.天板</td><td>▶50</td><td>▶53</td></tr></table>	手洗器	あり	なし	15.天板	▶50	▶53
手洗器	あり	なし					
15.天板	▶50	▶53					
16.リモコン	▶55						
17.仕上げ	▶55						
引渡し前の点検	▶裏表紙						

マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



シールテープを巻いてください。



カットしてください。



ボードアンカーを差し込んでください。



けがきをしてください。

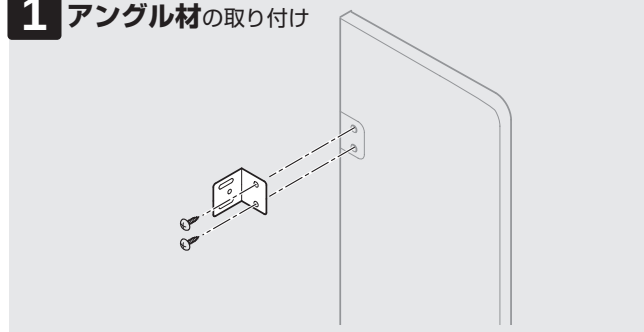


水準器で水平・垂直確認してください。

0.エンドパネル(オプション)

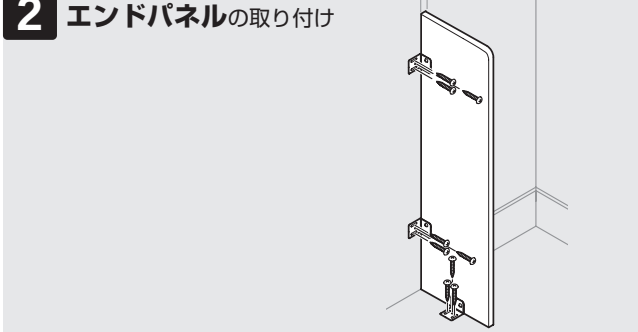
【エンドパネルがない場合】
 P.23「1.壁掛大便器スタンド」から作業してください。

1 アンクル材の取り付け



▶P.22

2 エンドパネルの取り付け



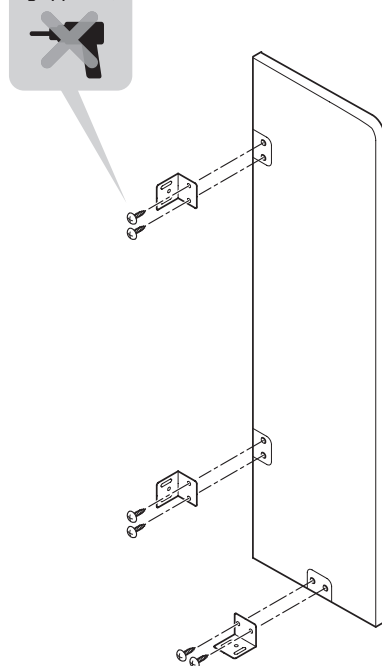
▶P.22

1 アンクル材の取り付け

①

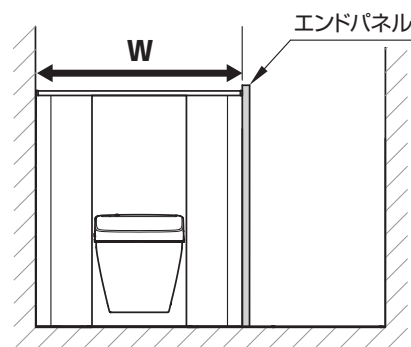
トラストピンねじ
 $\phi 4 \times 12$ (6本)

手締めで



2 エンドパネルの取り付け

間口寸法Wの測定範囲



トラストピンねじ
 $\phi 4 \times 30$ (9本)

②

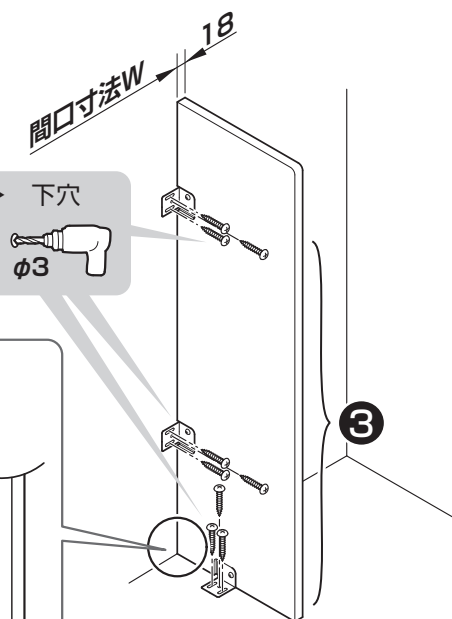
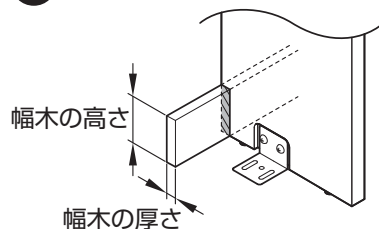
けがき → 下穴

間口寸法W

$\phi 3$

【幅木がある場合】

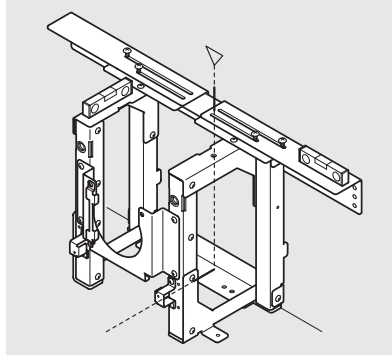
① 幅木分カット



③

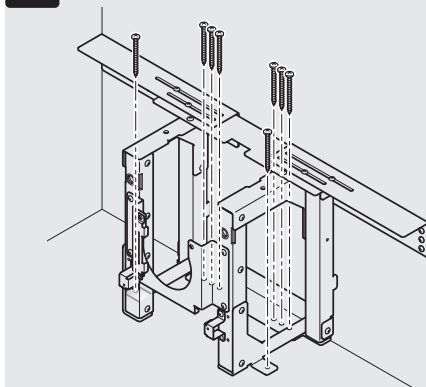
1. 壁掛大便器スタンド

1 壁掛大便器スタンドの仮設置



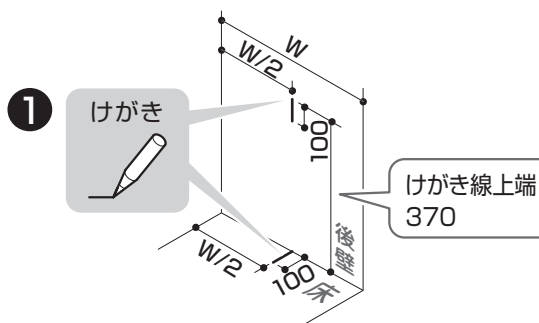
▶ P.23

2 壁掛大便器スタンドの固定



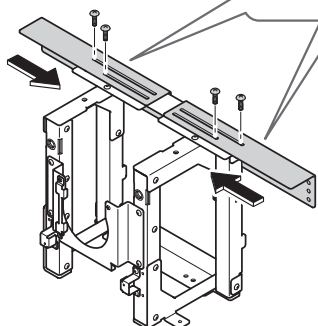
▶ P.23

1 壁掛大便器スタンドの仮設置



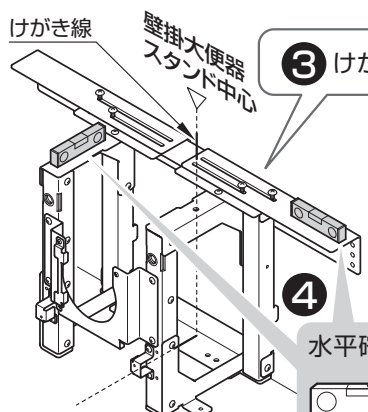
トラスタッピンねじ
φ5×14(各2本)

2 間口調整材を
中心によせて仮固定

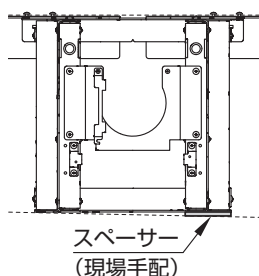


外側の穴

3 けがき線にあわせて仮置き
傾きが大きい場合



4 水平確認

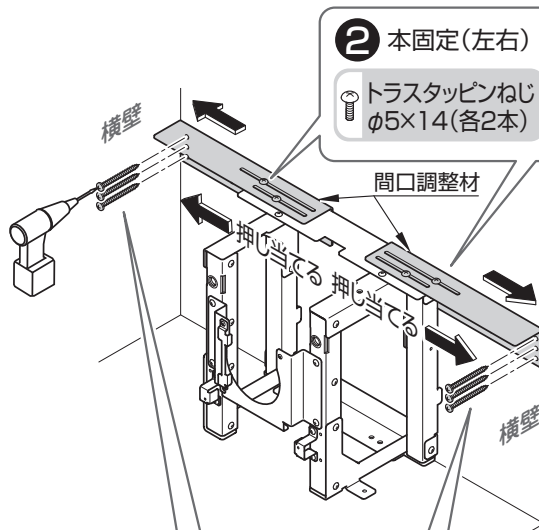


2 壁掛大便器スタンドの固定

注意



横壁と間口調整材とにすき間があかないようにする
商品が破損・落下し、けがの恐れがあります。



1 (左右)

けがき → 下穴



なべタッピンねじ
φ6×50(各3本)

給水新設

既存給水流用

1

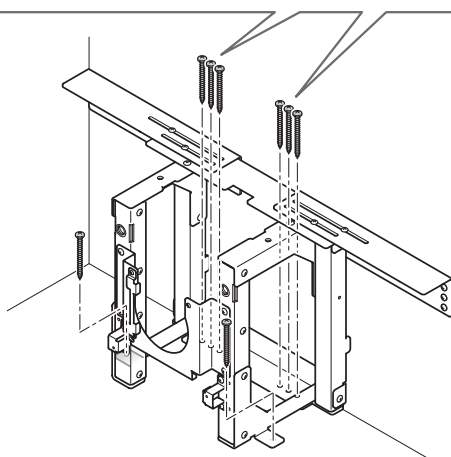
壁掛大便器スタンド

3

けがき → 下穴



なべタッピンねじ
φ6×50(8本)



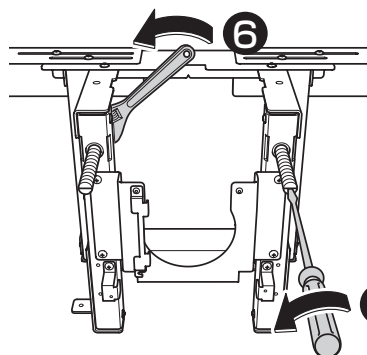
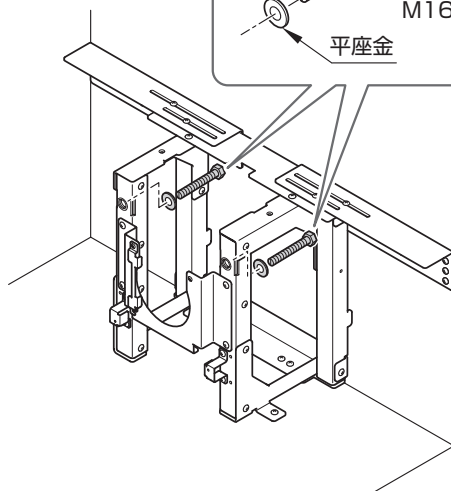
※予備のねじが2本残ります。

4



大便器固定ボルト
M16×140

平座金



ボルトのすりわり部を
マイナスドライバーで回して固定

ポイント

大便器固定ボルトの頭部分をスパナなどの
工具で最後までしっかりと締め付ける。

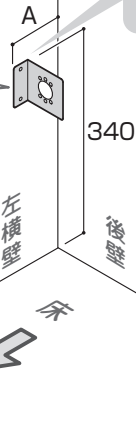
既存給水流用の場合

7

けがき → 下穴※



止水栓に同梱



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)



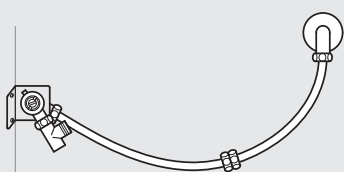
排水方向		A
壁排水	後ろ抜き	85
	右抜き	
	左抜き	170

MEMO

2. 止水栓

【給水新設】タイプと【既存給水流用】タイプで施工方法が異なります。商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

1 止水栓・分岐金具の取り付け 【既存給水流用(一般地／流動方式)場合】



▶ P.25

▶ P.26 一般地／流動方式
▶ P.27 水抜方式

給水新設

既存給水流用

2

止水栓

給水新設

1 止水栓・分岐金具の取り付け

ポイント

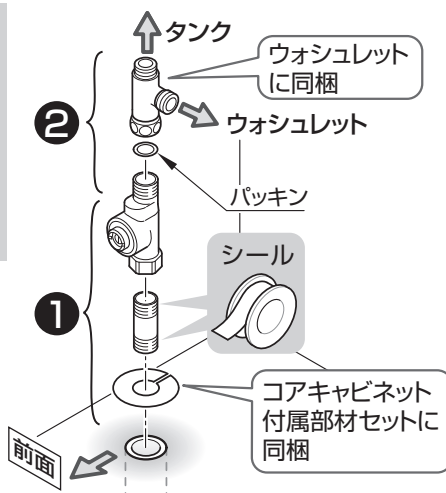
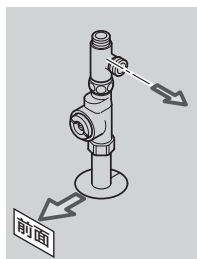
左右勝手とも取付位置は正面
向かって左

注意

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付けてください

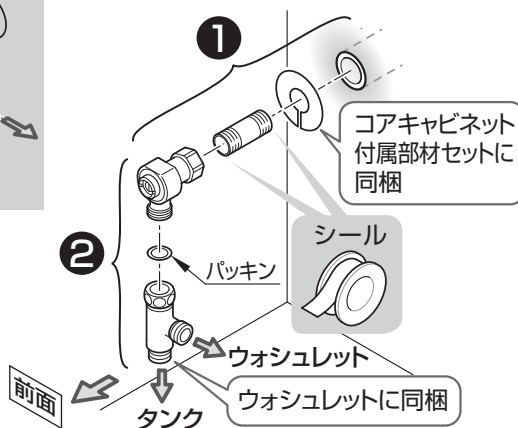
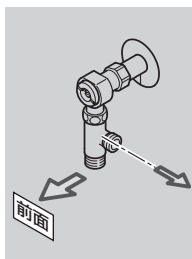
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

床給水

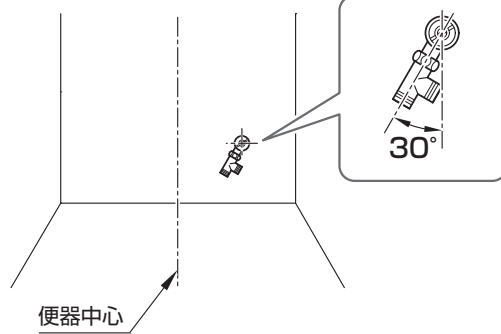
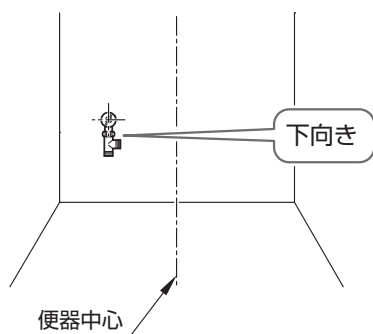


【床排水／壁排水 後ろ抜き 右抜きの場合】

壁給水



【左抜きの場合】

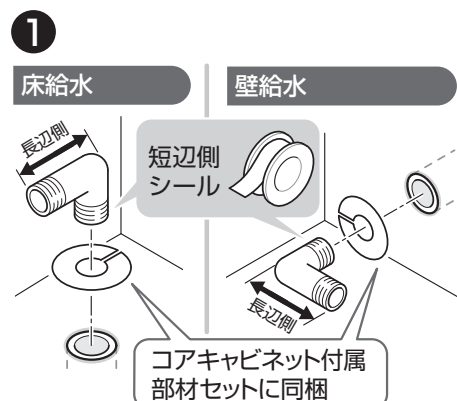


給水新設

既存給水流用

既存給水流用 一般地／流動方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

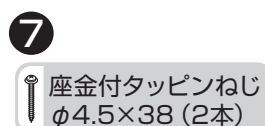
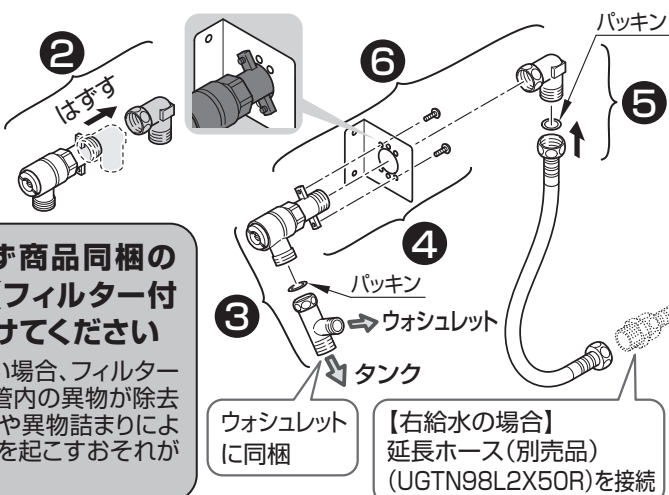


なべ小ねじ
M4×8 (2本)

注意

**止水栓は必ず商品同梱の
専用止水栓（フィルター付
き）を取り付けてください**

設置いただけない場合、フィルター
がないため給水管内の異物が除去
されず、ゴミかみや異物詰まりによ
る止水・吐水不良を起こすおそれ
があります。

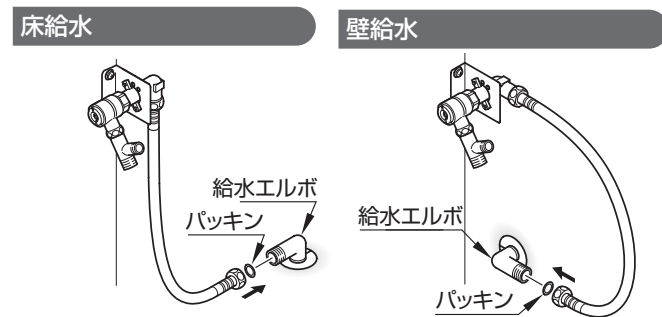
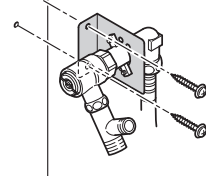


【エンドパネルに壁側板
を取り付けている場合】

必ず使用

「エンドパネル」に同梱
トラスタッピンねじ
φ4×12 (2本)

事前にあけた左横壁下穴
(▶P.24)に取り付け



MEMO

給水ホースの取り回し

	給水位置が壁掛大便器 スタンドの左の場合	給水位置が壁掛大便器 スタンドの内部の場合	給水位置が壁掛大便器スタンドの 右の場合
壁給水			
床給水			

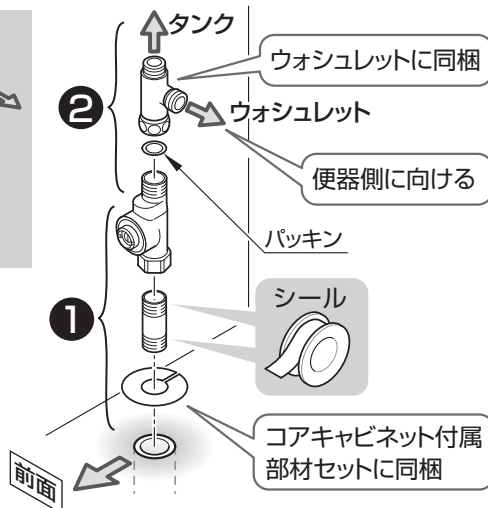
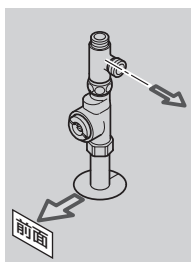
既存給水流用 水抜方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

注意

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。



※図は止水栓が左側にある場合

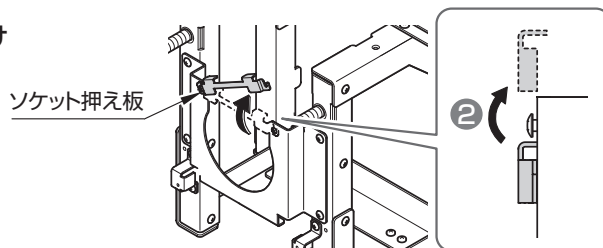
3.排水接続管

1 排水接続管の取り付け

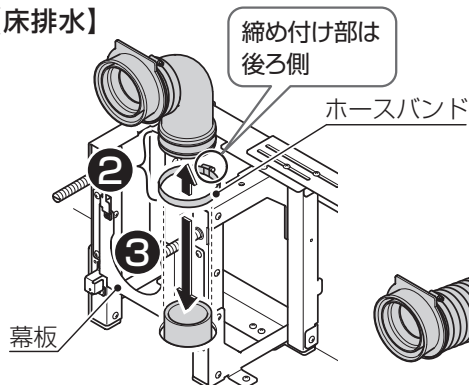
① ソケット押え板を上げておく

① テープ留めを外す

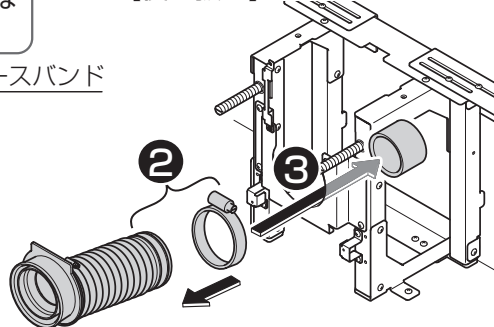
② リベットを乗り越えて、上げておく



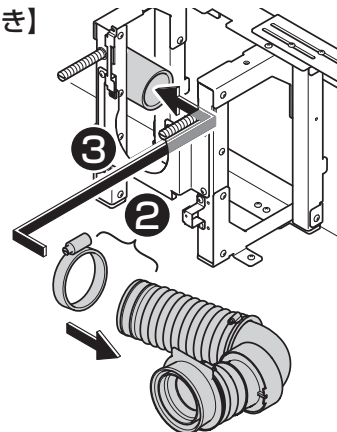
【床排水】



【後ろ抜き】

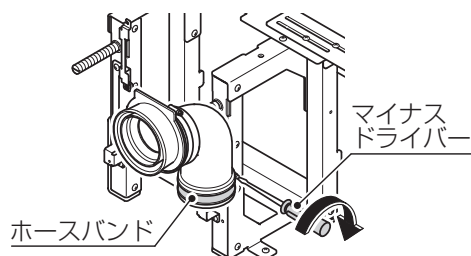


【左右抜き】

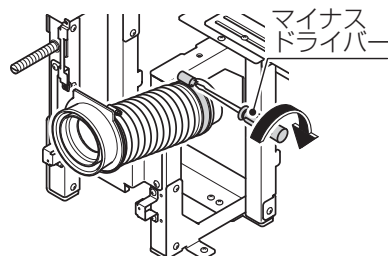


④

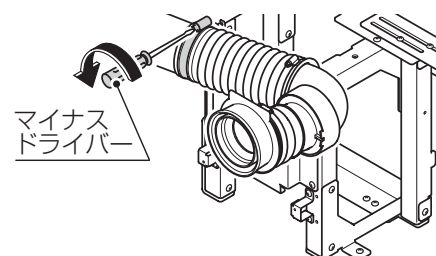
【床排水】



【後ろ抜き】



【左右抜き】



⚠ 注意

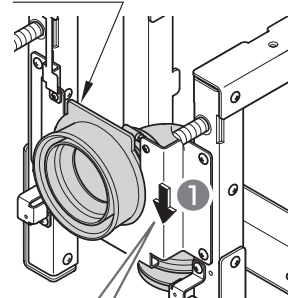


ホースバンドは、電動ドライバーで締め付けない

排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

⑤ 排水ソケットの固定

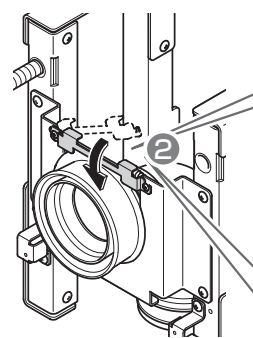
排水ソケット



ポイント

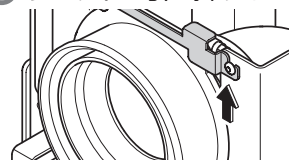
この凹部分を
幕板に差し込む

① 幕板の溝にはめる



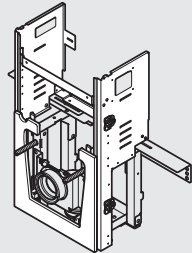
② リベットを
乗り越えて、
下へ押し込む

③ リベットに引っ掛ける



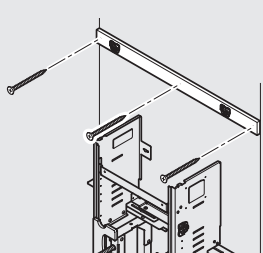
4. コアキャビネット

1 コアキャビネットの 取り付け



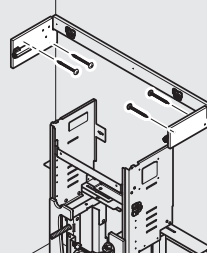
▶ P.29

2 後横さんの取り付け



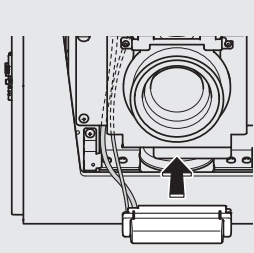
▶ P.30

3 壁側板の取り付け



▶ P.30

4 照明部材の取り付け



▶ P.31

1 コアキャビネットの取り付け

注 意

ねじ固定時に側板が
曲がらないようにすること



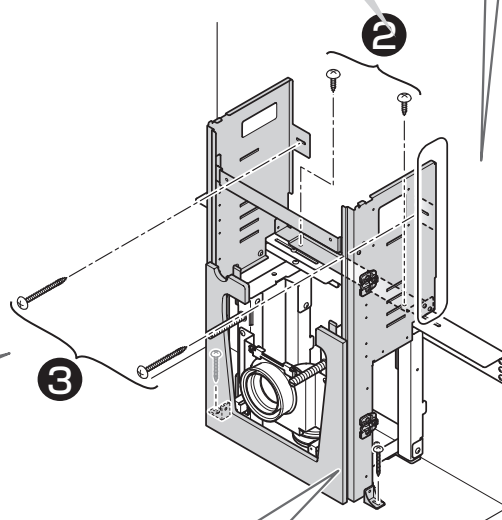
けがき → 下穴



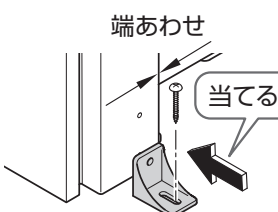
トラスタッピンねじ
φ4×40(2本)

トラスタッピンねじ
φ5×14(2本)

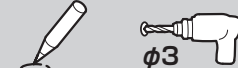
壁との
すき間なし



4 アングル材を側板に当て、床に固定 (側板への固定は不要)(左右2カ所)



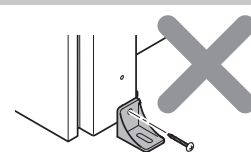
けがき → 下穴



トラスタッピンねじ
φ4×30(2本)

注 意

側板へ固定しない

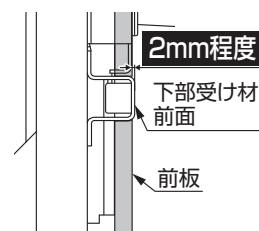
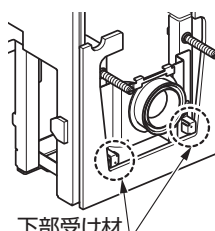
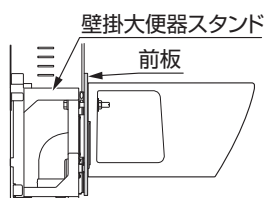


ポイント

下部受け材前面が前板より
2mm程度、前に出ていることを
確認する

下部受け材が壁仕上げ面より引っ込んでいると、
前面に荷重がかかり破損するおそれがあります。

【設置完了状態】



2 後横さんの取り付け

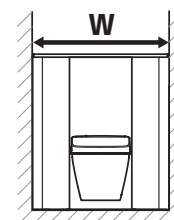
① 後横さんカット・穴あけ

ポイント

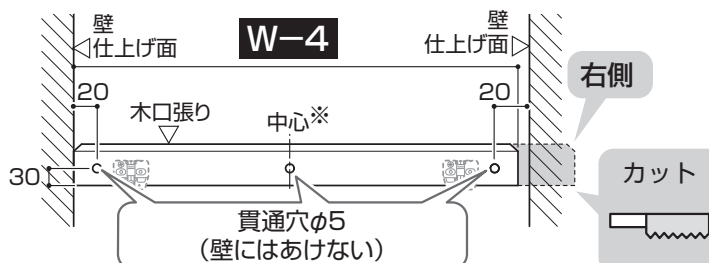
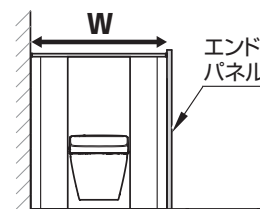
チッピングに
注意!



間口寸法Wの 測定範囲

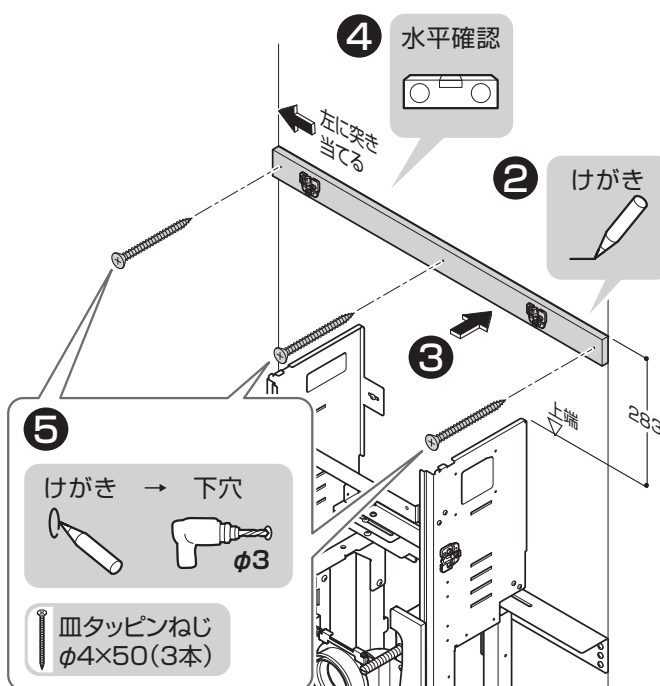


【エンドパネルありの場合】

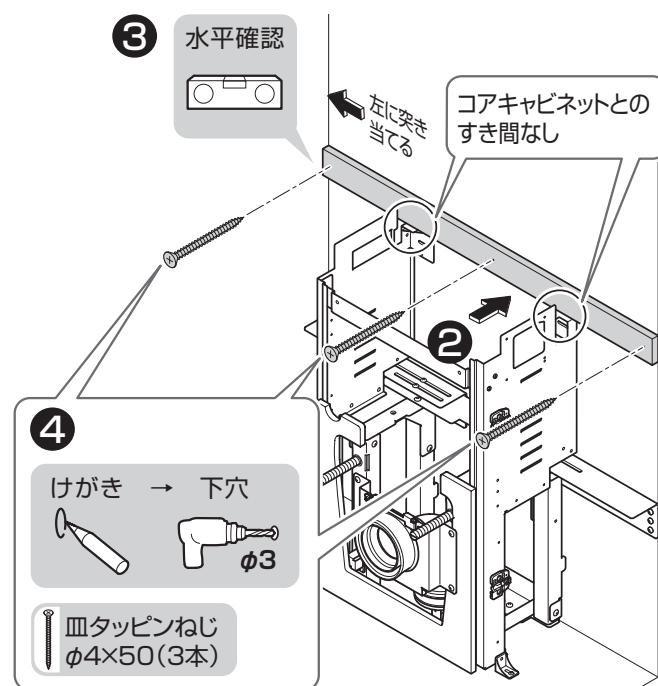


※壁裏補強なしの場合は間柱中心

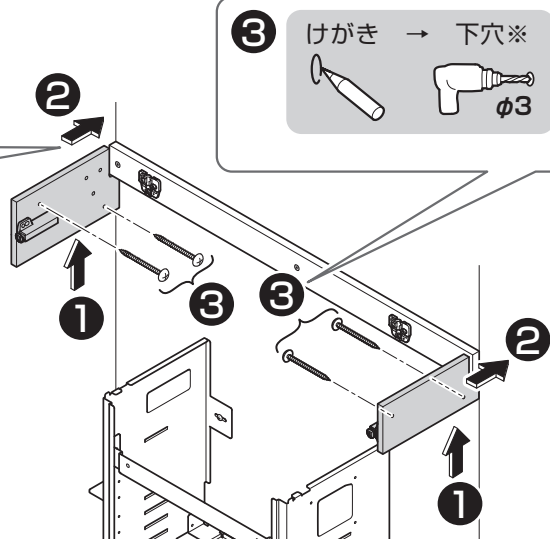
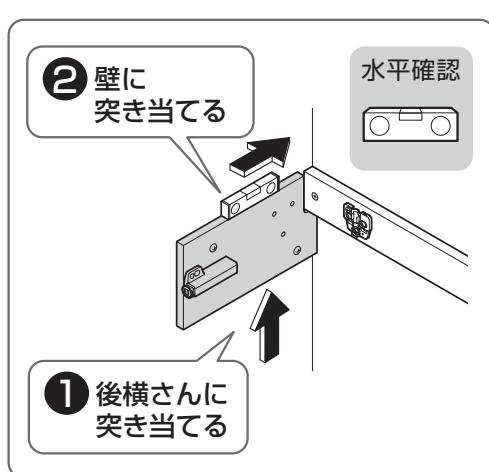
まるごと収納タイプの場合



すっきり収納タイプの場合



3 壁側板の取り付け



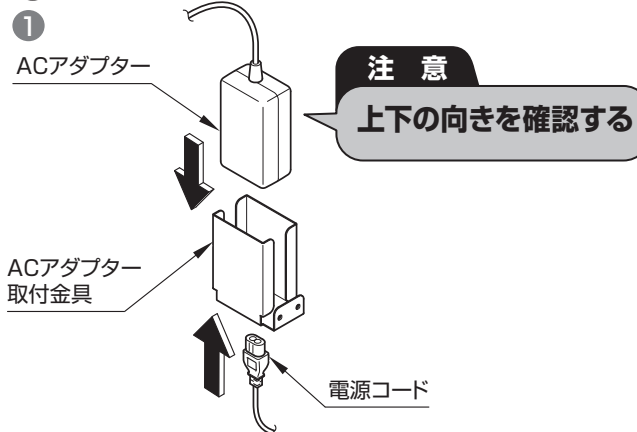
エンドパネルの場合

必ず使用

「エンドパネル」に同梱
トラス小ねじ
M4×18 (2本)

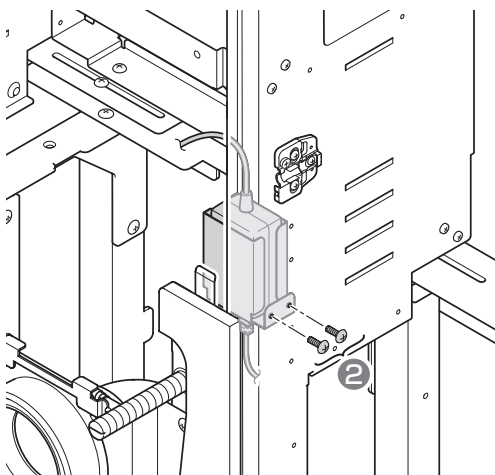
4 照明部材の取り付け

① ACアダプターの取り付け

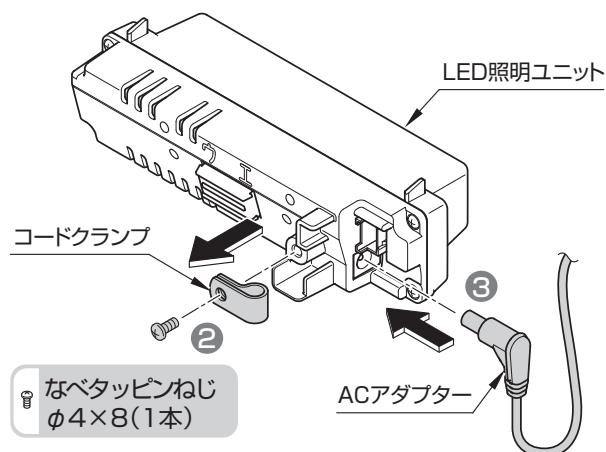
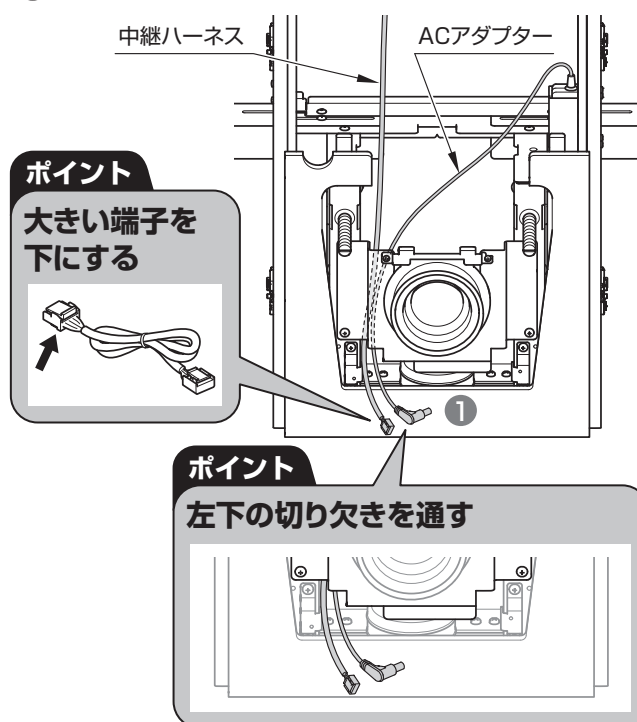


トラス小ねじ
M4×10(2本)

手締めで



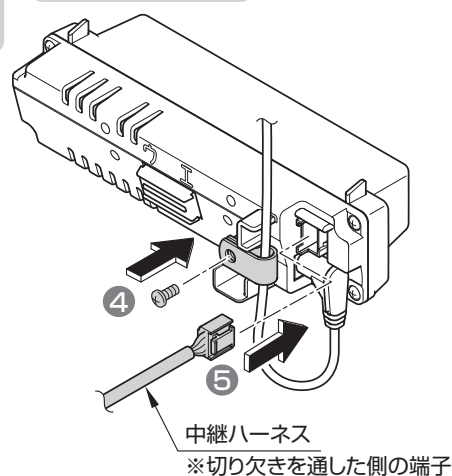
② LED照明ユニットの組み立て



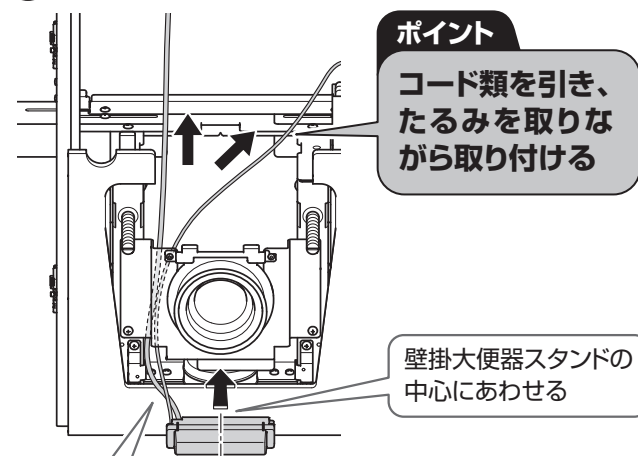
手締めで



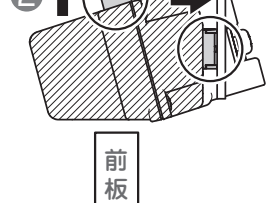
なべタッピンねじ
φ4×8(1本)



③ LED照明ユニットの取り付け



- ① LED照明ユニット裏の磁石を押し当てる
- ② LED照明ユニット上部の突起を押し当てる

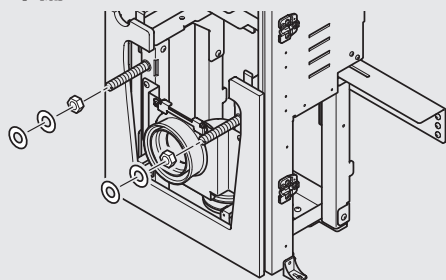


4

コアキャビネット

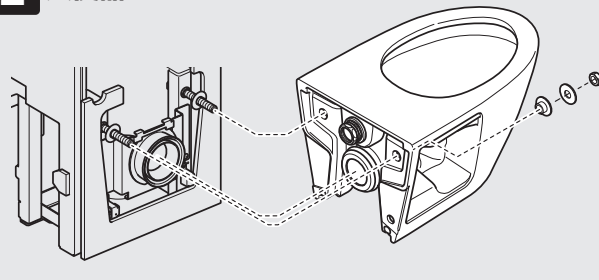
5. 大便器

1 取り付けの準備



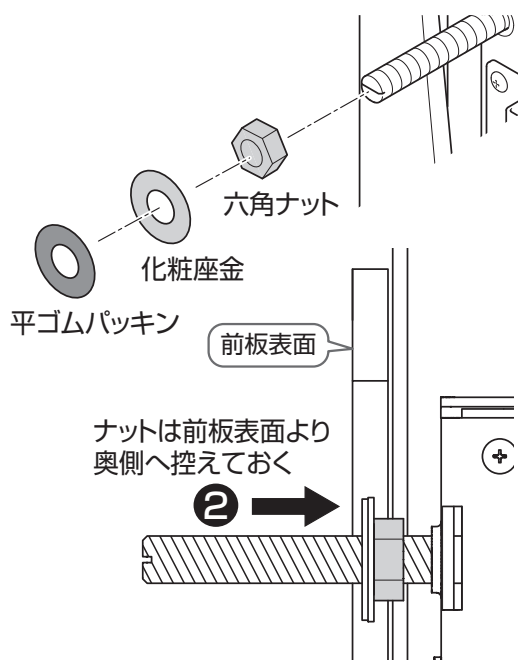
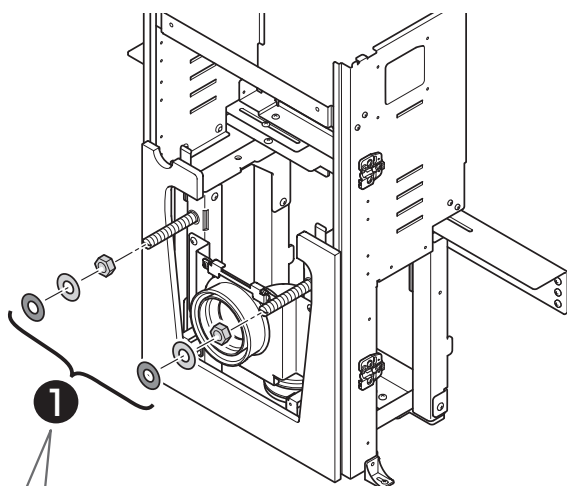
▶ P.32

2 大便器の取り付け



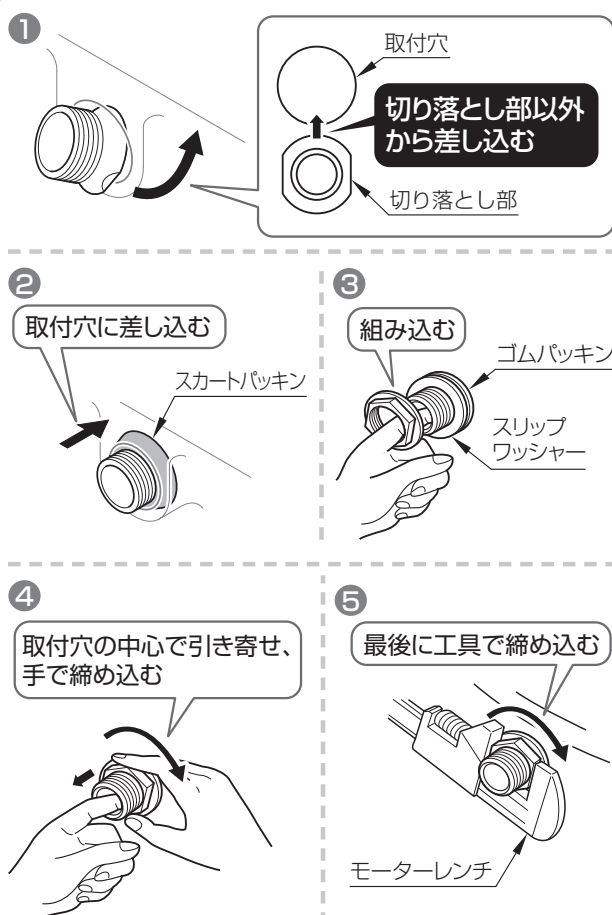
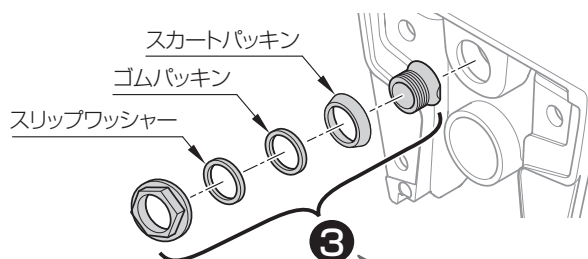
▶ P.33

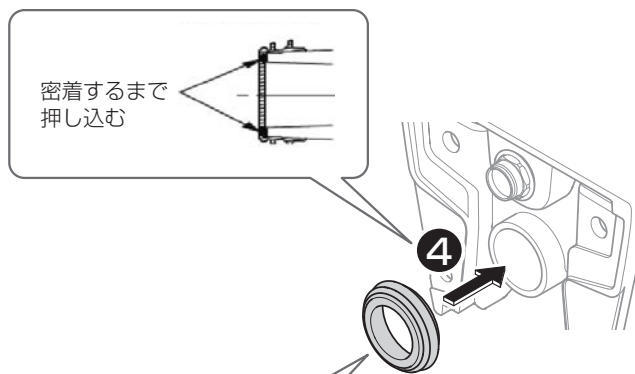
1 取り付けの準備



注意

大便器の底に張ってある断熱材は、はがさない
はがしたり傷付けたりすると結露した水によって家財などを
ぬらす財産損害発生の原因となります。





排水パッキン

排水ソケット側 ◀ ▶ 大便器排水口装着側

大便器排水口外周の汚れを取り除き、装着する

注意



グリスは使用しない

劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

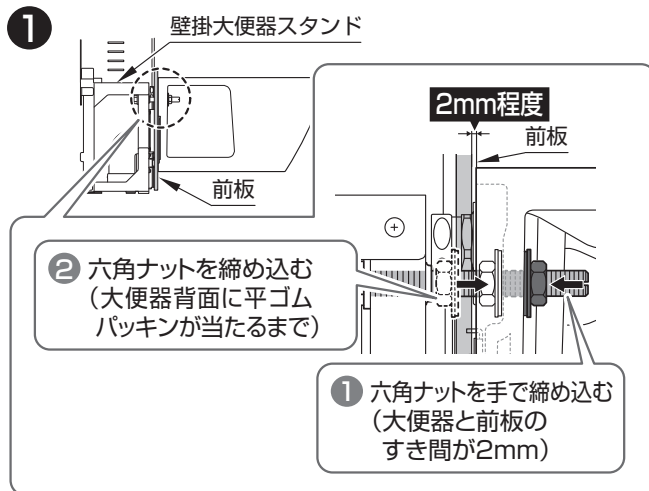
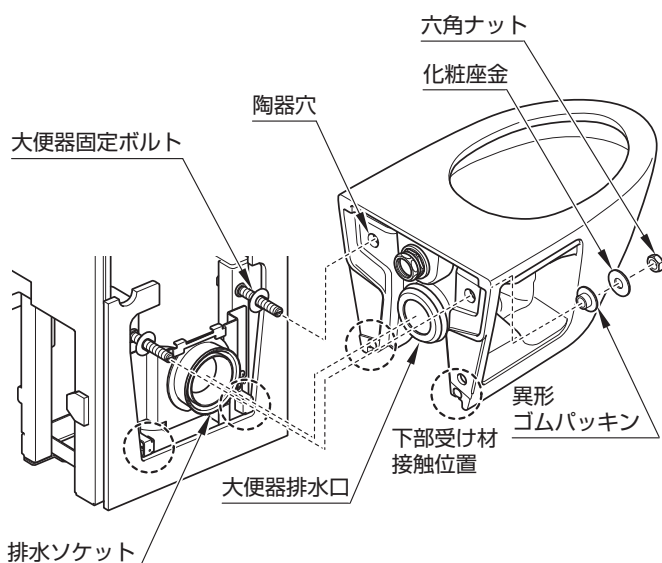


必ず守る

・排水パッキン表面に必ず水または水石けんをつけてから差し込む

・排水パッキンは大便器排水口に密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

2 大便器の取り付け



ポイント

便器を工具で締め付ける前に、便器上面のすき間が2mm程度であること、便器の裏面に平ゴムパッキンが接触していることを確認する
工具で締め付けた際、前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。

注意

コード類をはさみこまないこと

- ② 排水接続管が逆勾配にならないように確認・調整
- ③ 上部の六角ナットを交互に締め付け本固定

ポイント

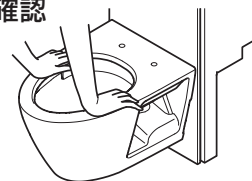
便器の先端を押して、前板と便器のすき間が目立たないことを確認する

注意

パッキンの擦れる音がしたら、六角ナットの締め込みすぎです。

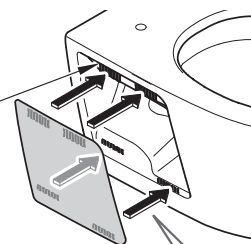
- ④ ぐらつきおよび異音有無の確認

便器先端に両手で荷重をかけ
☐ 便器がぐらつかないこと
☐ 異音発生のないこと



- ⑤ サイドカバー取り付け

サイドカバー
取付境界線

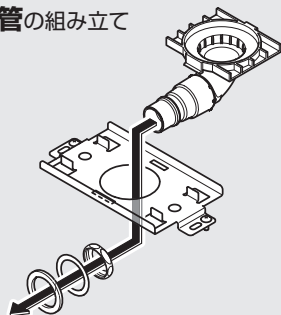


※面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえて、サイドカバーが外れないことを確認してください。

押し当てる

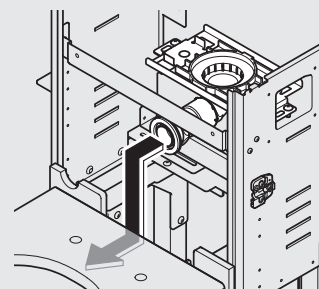
6. タンク接続管

1 タンク接続管の組み立て



▶P.34

2 タンク接続管の取り付け



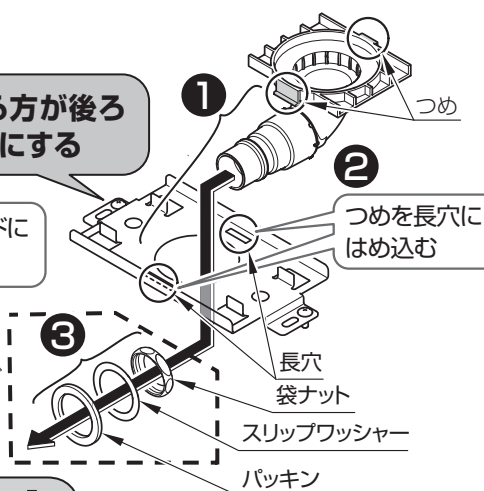
▶P.34

1 タンク接続管の組み立て

ポイント

ねじがある方が後ろになるようにする

大便器スパッドに同梱



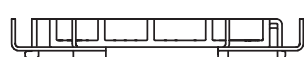
注意



袋ナット・スリップワッシャー・パッキンの取付順番を間違えないようにする
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

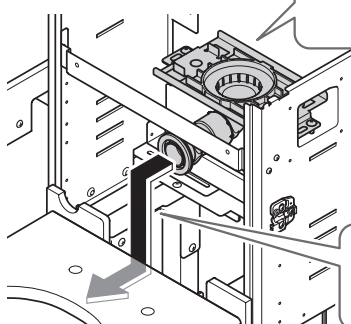
2 タンク接続管の取り付け



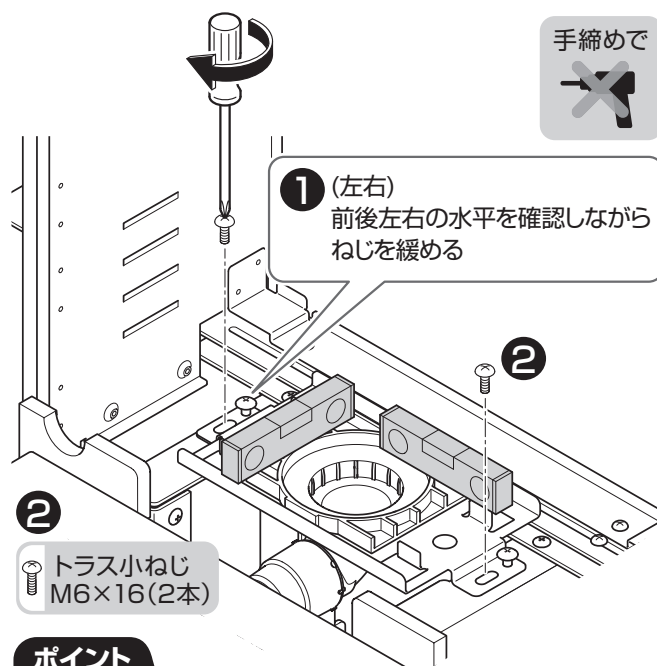
注意

コード類をはさみこまないこと

陶器背面からスパッドに挿入



手締めで

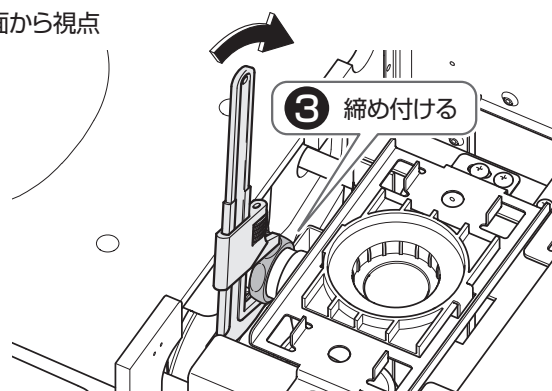


ポイント

下記内容を確認してください。

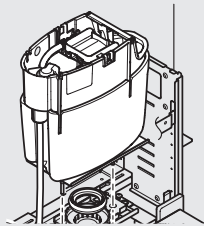
- ・タンク接続管がスパッドの奥にあたっていること
 - ・タンク接続管が前後左右水平であること
 - ・ねじにゆるみ、ガタつきがないこと
- ※タンク接続管が水平でない場合、後でタンクを設置した際、タンクが傾きキャビネットや照明部材と干渉します。

陶器背面から視点



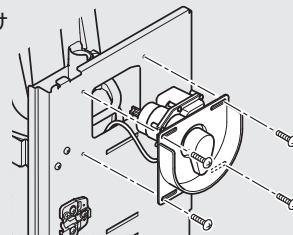
7. セットタンク

1 セットタンクの取り付け



▶P.35

2 洗浄レバーの取り付け



▶P.36

1 セットタンクの取り付け

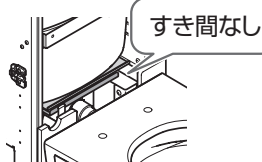
ポイント

セットタンクの給水ホースは壁掛大便器スタンドとコアキャビネット側板のすき間を通す

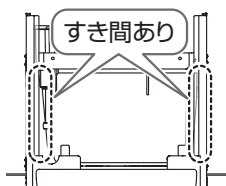
4 すき間確認

※タンクがキャビネット側板に干渉している場合は、タンクを外して、タンク接続管が傾いていないか、確認してください。

☐ タンク接続管とタンク下部の板金(黒)との間



☐ タンクとコアキャビネット側板の間



☐ タンクと後壁の間

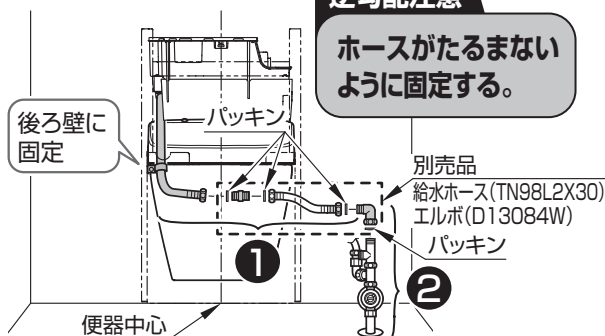


水抜方式

止水栓が右側にある場合

逆勾配注意

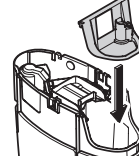
ホースがたるまないように固定する。



タンク内から取り出す

カバー(A)

6 カバー(B)の取り付け



2 タンク接続管にのせる

注意



タンクにパッキンがセットされていることを確認する

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

注意

コード類をはさみこまないこと

固定ナットの取り付けかた

注意



左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注意



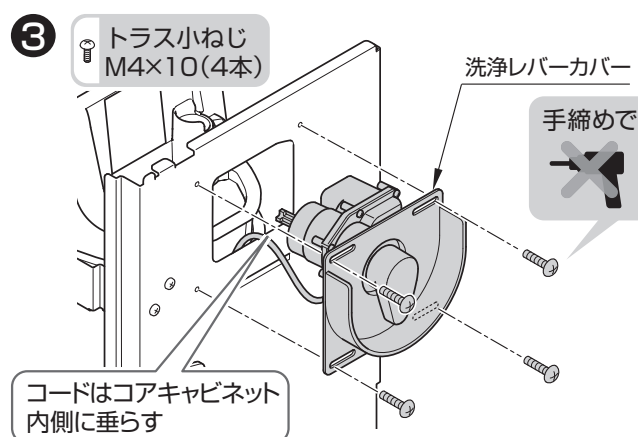
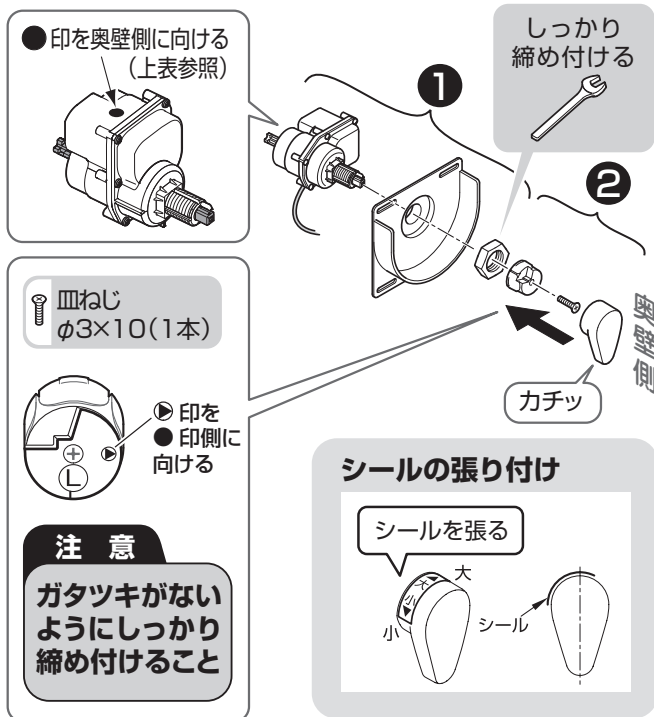
固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。



固定ナットを手締めでかたく締め付ける。

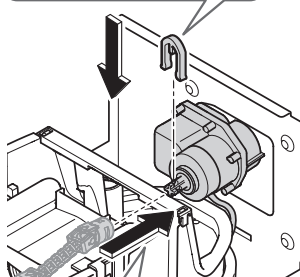
2 洗浄レバーの取り付け

※便器洗浄ユニットと同梱の説明書とは、取付向きが異なります。ワッシャーA、ワッシャーBは使用しません。



4 ジョイントからピンを取り外す

6 ピンを差し込む

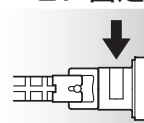


5 ジョイントを差し込む

ポイント

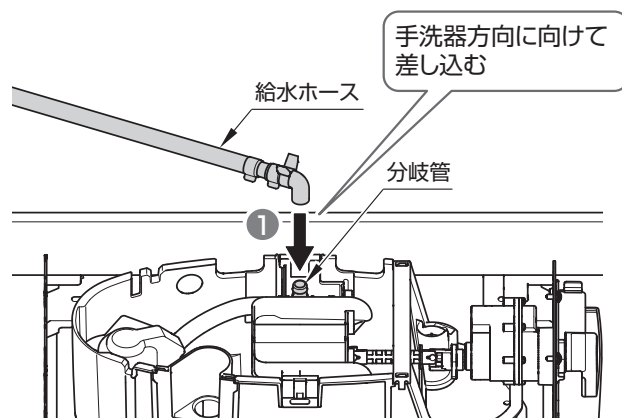
ジョイントが
抜けないことを確認

ピン固定位置

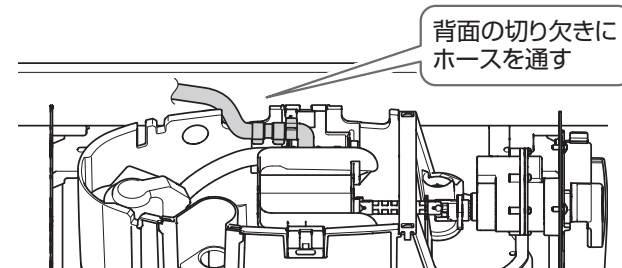


手洗器ありの場合

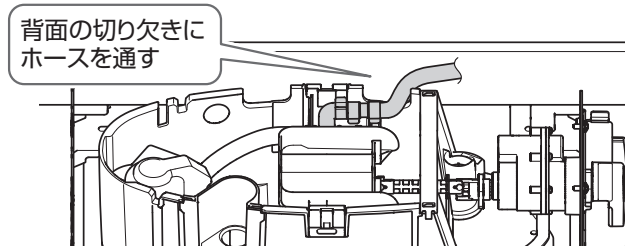
7 手洗器給水ホースの接続

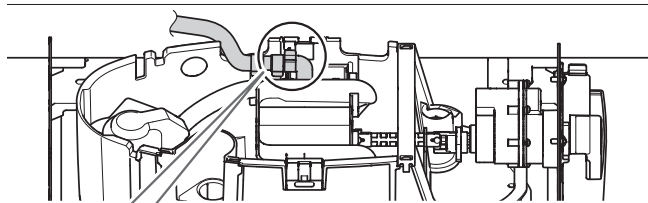


【左勝手の場合】

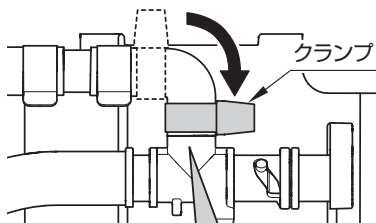


【右勝手の場合】





② クランプをつまんで移動し、分岐管とホースを締め付ける

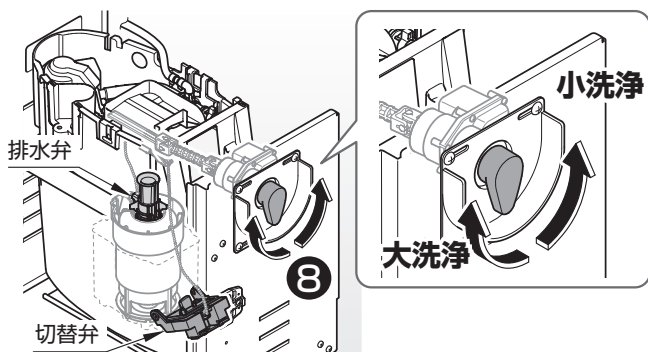


注意

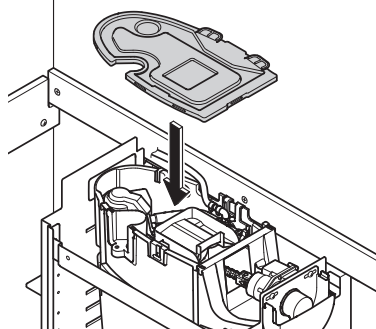
ホースの先端が突き当たるまで差し込むこと

⑧ 作動確認

- ☐ レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- ☐ 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がる
- ☐ 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がる

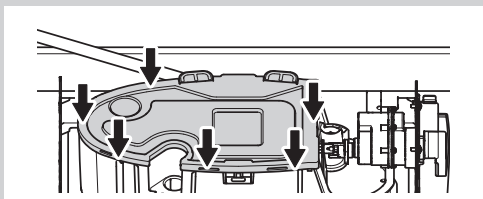


⑨ カバー(A)を閉じる

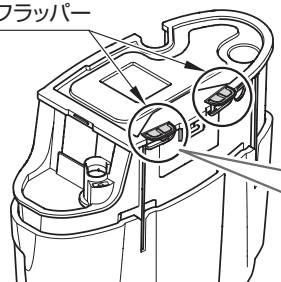


ポイント

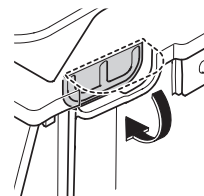
カバーがしっかり閉まり、浮き上がっていないことを確認する



フラッパー



⑩ 給水ホースを通さない側のフラッパーを折り込む



注意



必ず実行

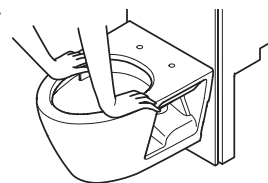
カバーがしっかり閉まっていることを確認する

カバーが閉まっていなくて、タンク内の水がはねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

⑪ ぐらつきおよび異音有無の確認

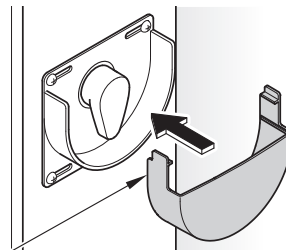
便器先端に両手で荷重をかけ

- ☐ 便器がぐらつかないこと
- ☐ 異音発生のないこと



⑫ 洗浄レバー補助カバーを取り付ける

洗浄レバー補助カバー



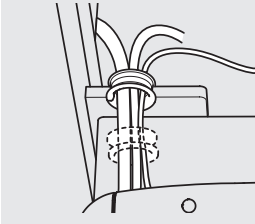
MEMO

8. ウォシュレット

1 ウォシュレットの設置

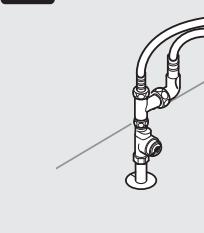
▶ウォシュレット施工説明書

2 ホース・コードのはめ込み



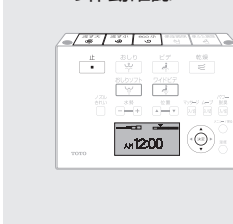
▶P.38

3 ホースの接続



▶P.38

4 リモコンの設定 の作動確認

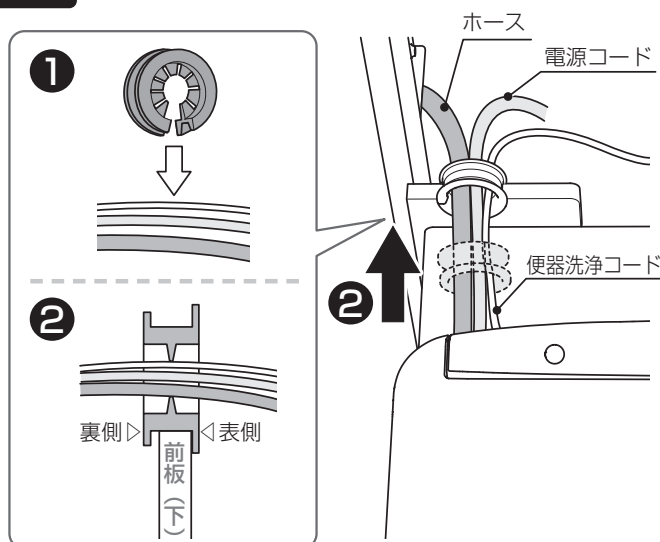


▶P.39

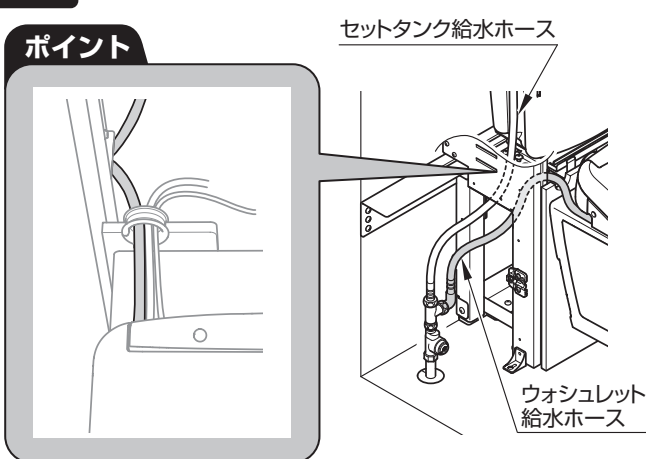
1 ウォシュレットの設置 ▶ウォシュレット施工説明書

作業がしやすいようにウォシュレットを手前に引き出しておく。

2 ホース・コードのはめ込み



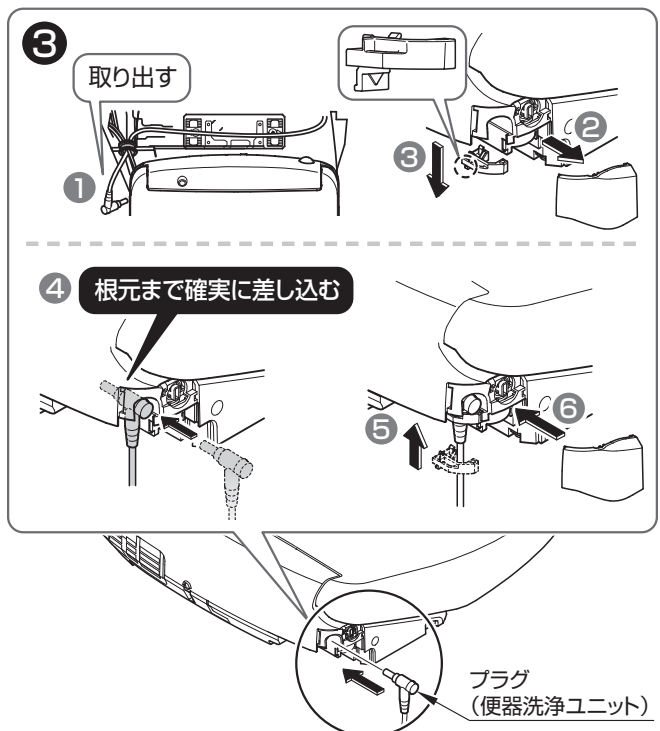
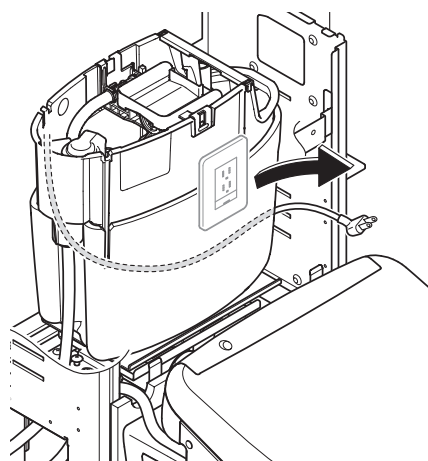
3 ホースの接続



水抜方式

電源コード取り回し

タンク用ヒーターの電源コードをコンセント側に取り回しておく



4 リモコンの設定・作動確認

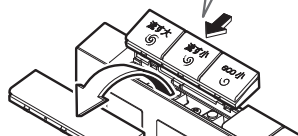
① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

② 流すボタンの取り付け

▶流すボタン取付説明書

流すボタン(便器洗浄ユニットに同梱)



注意

リモコンには流すボタンが取り付けいていません。
必ず取り付けてください。

③ 止 10秒以上押す

施工者モード 1/2

1. 便器洗浄モード
2. 本体 連立設定確認
◆で選ぶ⇒[決定]押す

決定

便器洗浄モード 1/10

1. 便器洗浄モード 1
2. 便器洗浄モード 2
◆で選ぶ⇒[決定]押す

決定

④



便器洗浄モード 8/10

7. 便器洗浄モード 7
8. 便器洗浄モード 8
◆で選ぶ⇒[決定]押す

決定

選択

便器洗浄モード 8
に設定しました

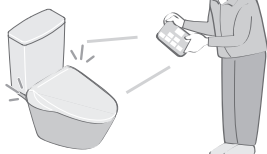
ピッ

決定後確認

◀表示

8. 便器洗浄モード 8

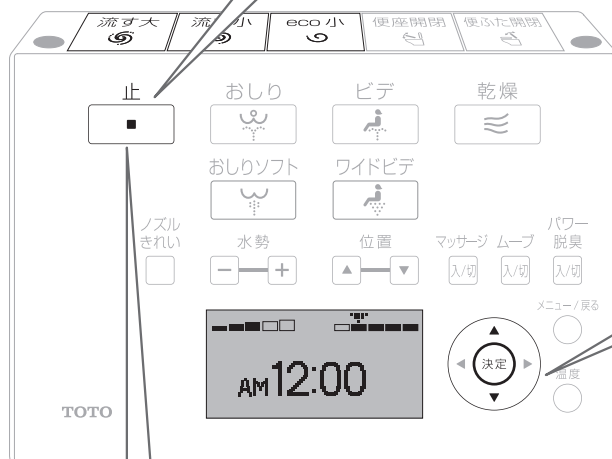
リモコンを
ウォシュレット本体の
受信部に向ける



注意

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、
電源を入れた後に行ってください。

※ウォシュレット本体
の電源が入っていないと設定を受け付け
ません。



⑤

止 → 設定完了

※機種によってデザインなどが異なります。

⑥ 作動確認

※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



■正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください